

高座清掃施設組合 令和4年度予算

◆◇◆ 一般会計の予算規模 ◆◇◆ 総額 32億3,744万4千円(前年度比1.6%減)

令和4年度の予算について、今後の事業展開に向け次の事項を主たる取組として編成を行いました。

1. 施設管理及び旧施設の解体等
2. 周辺環境整備の着実な執行
3. 余熱利用施設及び公園等の適正な管理

じん芥処理施設等の維持管理は、一般廃棄物の安定的な処理等を遂行できるよう特別目的会社（以下「SPC」という。）との契約内容を精査し、適切な施設の運営経費としました。

旧処理施設解体については、第二清掃処理場の解体に着手します。令和4年度は解体工事の実施設計を計上しました。旧処理施設の解体撤去に係る財源確保の検討と同時に地元団体の理解・協力が得られるよう協議を継続的に取り組みつつ、稼働を停止した旧処理施設解体撤去までの期間は、安全に配慮して管理に努めます。

処理施設更新に伴う組合周辺環境整備と位置づける本郷ふれあい公園は、整備期間中、構成三市の財政状況を圧迫する恐れがあるため、国費等の確実な獲得に努め事業を遂行します。

余熱利用施設及び公園等の適正な管理として、本郷ふれあい公園（第一工区）の維持管理は、必要となる業務の内容と経費を精査しました。

本郷老人福祉センター及び屋内温水プールは、老朽化が進んでいることから修繕計画により安全を最優先事項とし、かつ、状況により今後のあり方を考慮し管理してまいります。

組合の運営経費には構成三市民の税金が充てられていることを認識し、職員一人ひとりが、組合運営の当事者であることを自覚した上で、責任感を持ち、果たすべき役割を真摯に全うします。

○予算規模について

令和4年度一般会計当初予算の予算規模は、32億3,744万4千円（対前年度5,273万1千円・1.6%の減額）となりました。主たる増額理由は、じん芥処理施設等建設事業に伴い借り入れた組合債の元金償還開始等によるものです。

○当初予算の概要

令和4年度当初予算は、SPCによるじん芥処理施設等の運営・維持管理費のほか、水処理施設、最終処分場、余熱利用施設（屋内温水プール・本郷老人福祉センター）、本郷ふれあい公園（第一工区）の管理運営に係る経費を計上しました。

本郷ふれあい公園整備事業（第二工区）としては、用地取得費等を計上しました。

また、旧処理施設解体撤去として、第二清掃処理場解体工事に係る実施設計費を計上し、屋内温水プールを安定的に継続使用するため外壁等修繕工事を計上しました。

○一般会計歳入予算の状況

分担金24億7,423万9千円は、対前年度1億9,634万1千円（8.6%）の増額となりました。

使用料及び手数料4億1,119万7千円は、事業系一般廃棄物の搬入状況を踏まえ、対前年度3,989万8千円（10.7%）の増額となりました。

国庫支出金3,063万円は、本郷ふれあい公園整備事業（第二工区）における用地取得の進捗により減額となりましたが、第二清掃処理場解体工事実施設計に充てる循環型社会形成推進交付金を計上し、全体としては対前年度1億7,526万5千円（85.1%）の減額となりました。

県支出金3,542万6千円は、対前年度942万1千円（36.2%）の増額となりました。

繰越金1億5,000万円は、対前年度5,000万円（50.0%）の増額となりました。

組合債1億3,570万円は、対前年度1億7,320万円（56.1%）の減額となりました。

内訳は、旧処理施設解体に係る実施設計分2,110万円、対前年度1,420万円（205.8%）の増額、本郷ふれあい公園整備事業（第二工区）分が6,120万円、対前年度2億4,080万円（79.7%）の減額、屋内温水プール外壁等修繕工事分が5,340万円、対前年度皆増です。

○一般会計歳出予算の状況

総務費3億9,871万9千円は、対前年度3,419万1千円（7.9%）の減額となりました。減額した主な理由は、一般管理費3億5,816万1千円において、定年退職による職員数の変動等に伴い対前年度3,227万5千円（8.3%）の減額によるものです。

衛生費14億4,038万9千円は、対前年度5,372万9千円（3.6%）の減額となりました。減額した主な理由は、清掃総務費3億5,202万5千円において、正規職員数の変動等に伴い3,876万8千円（9.9%）の減額。塵芥処理費10億2,275万7千円において、第二清掃処理場解体工事実施設計による増額があるものの、SPCによるじん芥処理施設等の運転・維持管理において、令和4年度のごみ搬入見込量を前年度に対し減少を見込んだことにより、対前年度3,842万3千円（3.6%）の減額によるものです。

土木費1億443万5千円は、予算計上の大部分を占める本郷ふれあい公園（第二工区）の用地購入において、用地取得の進捗により対前年度4億4,688万6千円（81.1%）の減額となりました。

教育費2億659万円は、外壁等修繕工事を新たに計上したことにより対前年度7,363万4千円（55.4%）の増額となりました。

公債費10億2,776万1千円は、処理施設更新による建設事業及び本郷ふれあい公園整備に伴い借り入れた地方債等の元利償還金であり、対前年度4億809万6千円（65.9%）の増額です。増額した主な理由は、じん芥処理施設等建設において借り入れた地方債等のうち、平成30年度借入れ分の元金償還が開始されたことによるものです。

歳入 (単位：千円)

科 目	令和4年度		令和3年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	伸率
1 分担金及び負担金	2,474,239	76.4%	2,277,898	69.2%	196,341	8.6%
2 使用料及び手数料	411,197	12.7%	371,299	11.3%	39,898	10.7%
3 国庫支出金	30,630	0.9%	205,895	6.2%	△ 175,265	△ 85.1%
4 県支出金	35,426	1.1%	26,005	0.8%	9,421	36.2%
5 繰越金	150,000	4.6%	100,000	3.0%	50,000	50.0%
6 諸収入	252	0.1%	178	0.1%	74	41.6%
7 組合債	135,700	4.2%	308,900	9.4%	△ 173,200	△ 56.1%
歳入合計	3,237,444	100.0%	3,290,175	100.0%	△ 52,731	△ 1.6%

歳出 (単位：千円)

科 目	令和4年度		令和3年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	伸率
1 議会費	1,156	0.1%	1,156	0.1%	0	0.0%
2 総務費	398,719	12.3%	432,910	13.2%	△ 34,191	△ 7.9%
3 民生費	28,394	0.9%	28,049	0.8%	345	1.2%
4 衛生費	1,440,389	44.5%	1,494,118	45.4%	△ 53,729	△ 3.6%
5 土木費	104,435	3.2%	551,321	16.8%	△ 446,886	△ 81.1%
6 教育費	206,590	6.4%	132,956	4.0%	73,634	55.4%
7 公債費	1,027,761	31.7%	619,665	18.8%	408,096	65.9%
8 予備費	30,000	0.9%	30,000	0.9%	0	0.0%
歳出合計	3,237,444	100.0%	3,290,175	100.0%	△ 52,731	△ 1.6%

令和3年度 一般会計予算執行状況

令和3年度高座清掃施設組合の当初予算は、32億9,017万5千円でしたが、補正及び前年度繰越額を加え37億3,447万2千円となりました。

○歳入予算の執行状況について

歳入予算の予算現額に対する令和4年3月31日現在の執行状況は、88.5%・33億625万5,374円となっています。

なお、令和4年3月31日現在未収入である事業系一般廃棄物処理手数料及び県支出金等は、出納整理期間に収入される見込みです。

○歳出予算の執行状況について

歳出予算の予算現額に対する令和4年3月31日現在の執行状況は、66.7%・24億9,028万4,695円となっています。3月末において執行率が低い主な理由は、衛生費のSPCへの委託料（第4期分）の未支出及び土木費の用地取得費について令和4年度に繰り越した（繰越明許）ことによるものです。

なお、衛生費の高座クリーンセンター屋外トイレ等設置工事、水処理施設整備補修等は令和4年度に繰り越しています。

歳入 (令和4年3月31日現在) (単位：円)

科目	当初予算額	補正予算額等	継続費等繰越 財源充当額	予算現額 A	収入済額 B	執行率 B/A (%)
1 分担金及び負担金	2,277,898,000	0	0	2,277,898,000	2,277,898,000	100.0
2 使用料及び手数料	371,299,000	0	0	371,299,000	372,799,726	100.4
3 国庫支出金	205,895,000	0	0	205,895,000	108,969,000	52.9
4 県支出金	26,005,000	0	25,498,000	51,503,000	0	0.0
5 繰越金	100,000,000	156,372,000	57,656,000	314,028,000	314,028,305	100.0
6 諸収入	178,000	0	0	178,000	388,743	218.4
7 組合債	308,900,000	0	204,600,000	513,500,000	232,000,000	45.2
5 財産収入	0	171,000	0	171,000	171,600	100.4
歳入合計	3,290,175,000	156,543,000	287,754,000	3,734,472,000	3,306,255,374	88.5

歳出 (令和4年3月31日現在) (単位：円)

科目	当初予算額	補正予算額等	継続費等繰越 財源充当額	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A (%)
1 議会費	1,156,000	0	0	1,156,000	1,060,182	91.7
2 総務費	432,910,000	△ 7,733,000	0	425,177,000	370,575,629	87.2
3 民生費	28,049,000	0	0	28,049,000	23,946,065	85.4
4 衛生費	1,494,118,000	△ 8,206,000	287,754,000	1,773,666,000	1,112,302,173	62.7
5 土木費	551,321,000	0	0	551,321,000	290,773,749	52.7
6 教育費	132,956,000	0	0	132,956,000	92,792,277	69.8
7 公債費	619,665,000	0	0	619,665,000	598,834,620	96.6
8 予備費	30,000,000	172,482,000	0	202,482,000	0	0.0
歳出合計	3,290,175,000	156,543,000	287,754,000	3,734,472,000	2,490,284,695	66.7

○組合債現在高 (単位：円)

事業	令和3年9月30日	令和3年10月1日～令和4年3月31日		令和4年3月31日
	現在高	借入額	元金償還額	現在高
一般廃棄物処理事業債	8,779,648,168	0	233,163,163	8,546,485,005
一般補助施設整備等事業債	1,396,427,164	0	6,876,272	1,389,550,892
公共事業等債	358,418,128	0	6,386,944	352,031,184
一般事業債	224,635,500	190,000,000	8,814,500	405,821,000
地方道路等整備事業債	17,915,000	0	717,000	17,198,000
神奈川県市町村振興資金貸付金	929,596,712	42,000,000	72,260,272	899,336,440
合計	11,706,640,672	232,000,000	328,218,151	11,610,422,521

令和3年度に借り入れた内訳は、一般事業債2件、神奈川県市町村振興資金貸付金4件となりました。これにより借入件数は、一般廃棄物処理事業債11件、一般補助施設整備等事業債3件、公共事業等債5件、一般事業債11件、地方道路等整備事業債1件、神奈川県市町村振興資金貸付金21件の計52件となりました。組合債現在高は、116億1,042万2,521円となりました。

○財産 (令和4年3月31日現在) (単位：㎡)

区分	土地	建物
清掃処理場	56,908.35	32,374.01
老人福祉センター	2,592.47	779.09
埋立処分地	5,398.71	453.23
本郷ふれあい公園	29,825.05	27.62
合計	94,724.58	33,633.95

令和3年度の財産の移動について、土地は、本郷ふれあい公園における第二工区用地の取得等、建物は、排水処理施設及び粗大ごみ処理施設解体によるものです。

○本郷老人福祉センター

	令和3年度		令和2年度		比較	
	利用者数	利用割合	利用者数	利用割合	増減	伸率
海老名市	361人	55.2%	404人	60.4%	△ 43人	△ 10.6%
座間市	108人	16.5%	105人	15.7%	3人	2.9%
綾瀬市	185人	28.3%	160人	23.9%	25人	15.6%
合計	654人	100.0%	669人	100.0%	△ 15人	△ 2.2%

○高座施設組合屋内温水プール

	令和3年度		令和2年度		比較	
	利用者数	利用割合	利用者数	利用割合	増減	伸率
男性	52,256人	54.4%	18,312人	54.5%	33,944人	185.4%
女性	43,780人	45.6%	15,302人	45.5%	28,478人	186.1%
合計	96,036人	100.0%	33,614人	100.0%	62,422人	185.7%

令和3年度における余熱利用施設の利用状況は、本郷老人福祉センターが654人（対前年度2.2%・15人の減）、高座施設組合屋内温水プールは96,036人（対前年度185.7%・62,422人の増）となりました。

なお、新型コロナウイルスの影響を考慮した施設運営となっており、今後においても、状況を踏まえた施設運営となります。